

報道関係者各位  
PRESS RELEASE

貴メディアにおきまして、本事業の紹介ならびに  
説明会当日の取材等をご検討いただきますよう  
お願い申し上げます。

2017年6月吉日

おもてなし山形 株式会社  
代表取締役 遠藤 秀一

山形・天童・上山を中心に  
**県内外企業  
約90社・100名が参加予定**  
(平成29年6月6日現在の参加申込数)



2017年3月31日設立した山形・天童・上山の三市が地方創生事業として取り組んでいる  
日本版DMO形成事業において中核を担う「おもてなし山形(株)」が、  
インバウンドビジネスのサポートのため、「おもてなしサポーターズクラブ」を組織いたします。  
今回の説明会では、「山形を取り巻く観光の状況」や  
「おもてなしサポーターズクラブの概要」を紹介いたします。

＼インバウンドビジネスをサポート！／



**おもてなしサポーターズクラブ**  
立ち上げについての説明会を開催!



開催日時

平成29年

**6/13**火

14:00~16:00  
(受付13:30~)

会場

山形国際交流プラザ  
ビッグウイング 2F 交流サロン (山形市平久保100)

内容

- ①山形を取り巻く観光の状況について
- ②おもてなしサポーターズクラブについて



「やまがた」の観光を産業へ

**おもてなし山形** 株式会社

www.omotenashi-yamagata.jp

本件に関するお問合せ

広報担当者/中山 竜一 TEL.023-631-9522 FAX.023-631-9533

info@omotenashi-yamagata.jp 〒990-0043 山形市本町二丁目1-16 アーバン本町2F

# 「地方創生」から 「地域収益事業」が誕生!

観光振興の中核組織「山形版DMO」に持続化を  
もたらす収益事業体(DMC)、「おもてなし山形(株)」

山形県山形市・天童市・上山市の三市が地方創生事業として取り組んでいる日本版DMO形成事業において、推進の中核を担う事業体「おもてなし山形株式会社」が以下設立概要に沿って2017年3月31日誕生しました。  
域内及び県外の民間事業者が協力し民間らしい経営手法による様々な地域・観光振興策を通じ、年間614万人の観光入れ込み客数(三市連携観光地域づくり推進協議会調べ)の更なる増加と観光消費額の拡大を目指して参ります。

Plan A

Plan B

Plan C



## おもてなし山形(株) 会社概要

設立	2017年3月31日
住所	〒990-0043 山形県山形市本町二丁目1-16
資本金	1,925万円
代表者	代表取締役 遠藤 秀一
株主	(株)山形県観光物産会館 (株)ヴィジョンクエスト(株) (株)ヤマコー NECキャピタルソリューション(株) (株)庄交コーポレーション (株)山形銀行 (株)荘内銀行 (株)さらやか銀行 山形信用金庫 (株)山形新聞社 山形バナソニック(株) 最上峽芭蕉ライン観光(株) (株)ジョインセレモニー (株)大風印刷 (株)アイン企画

## おもてなし山形(株) 事業概要

〈地域総合商社としての機能を実現〉

### 旅行商材の開発・販売

域内循環・業区間循環を狙った独自商品の開発・販売。

### ブランド商材の選定・育成

新やまがたブランド商材の選定・育成。市場調査・開発投資支援・顧客滞留ポイントの常設。

### 海外販路の構築

旅行商材・ブランド商材の海外向け常設販路の提供。高単価商材をゆっくり提案する販売拠点を台湾・豪州・タイなどに構築。

### インバウンド対応

エリア免税・国際手ぶら観光の運営。蔵王ブランドをさらに進化させるインバウンド利便性の追求。

### 地域新電力の事業化

地域PPS(新電力)事業の立ち上げ。既存電力会社からの大口一括契約化。市営公共施設及びDMC加盟事業者向けコスト低減支援。

### 金融ファンド運営

旅行商材・ブランド商材開発に必要なインフラを投融资。大手投資ファンドと域内地銀合同ファンドを創設。



# 3市連携し旅行企画



## 15社株主 会社創立、販売も

山形・上山・天童3市連携推進協議会が、観光地域づくり推進協議会と連携し、観光客の利便性を高めるため、観光バス事業者15社が共同で「東北のキーパーソン」を設立し、観光バスを共同で運行する計画を発表した。また、観光客向けに観光商品の企画・販売も手が掛ける。

山形市、上山町、天童市の3市連携推進協議会が、観光客の利便性を高めるため、観光バス事業者15社が共同で「東北のキーパーソン」を設立し、観光バスを共同で運行する計画を発表した。また、観光客向けに観光商品の企画・販売も手が掛ける。

2017年3月30日(木) 山形新聞

# DMC 2社と連携協定



## 山形・上山・天童3市 観光地域づくり推進協

山形・上山・天童3市連携推進協議会が、観光客の利便性を高めるため、観光バス事業者15社が共同で「東北のキーパーソン」を設立し、観光バスを共同で運行する計画を発表した。また、観光客向けに観光商品の企画・販売も手が掛ける。

山形市、上山町、天童市の3市連携推進協議会が、観光客の利便性を高めるため、観光バス事業者15社が共同で「東北のキーパーソン」を設立し、観光バスを共同で運行する計画を発表した。また、観光客向けに観光商品の企画・販売も手が掛ける。

2017年4月27日(木) 山形新聞

2017年5月19日(金) 山形新聞

山形市観光振興課長 佐藤 秀一氏

山形市観光振興課長 佐藤 秀一氏は、観光客の利便性を高めるため、観光バス事業者15社が共同で「東北のキーパーソン」を設立し、観光バスを共同で運行する計画を発表した。また、観光客向けに観光商品の企画・販売も手が掛ける。

2017年5月17日(水) 日経新聞

## 東北のキーパーソン

### 観光誘客 海外富裕層を開拓

山形市観光振興課長 佐藤 秀一氏は、観光客の利便性を高めるため、観光バス事業者15社が共同で「東北のキーパーソン」を設立し、観光バスを共同で運行する計画を発表した。また、観光客向けに観光商品の企画・販売も手が掛ける。

2017年5月22日(月) 読売新聞

## 観光稼ぐ実動部隊指揮

山形市観光振興課長 佐藤 秀一氏は、観光客の利便性を高めるため、観光バス事業者15社が共同で「東北のキーパーソン」を設立し、観光バスを共同で運行する計画を発表した。また、観光客向けに観光商品の企画・販売も手が掛ける。

## 時代に対応、まず行動

山形市観光振興課長 佐藤 秀一氏は、観光客の利便性を高めるため、観光バス事業者15社が共同で「東北のキーパーソン」を設立し、観光バスを共同で運行する計画を発表した。また、観光客向けに観光商品の企画・販売も手が掛ける。